

平成 30 年度長久手市市内一斉防災訓練 実施計画（案）

1 訓練方針

市内で、震度 6 強の地震が発生したとの想定の下、会場（小学校）ごとに市民が主体となり防災関係団体、市職員が協力し一斉に訓練を実施する。

○ 今年度の重点項目

- (1) 要配慮者への対応
- (2) 学校との連携
- (3) 実際に発災したことを想定した訓練の拡充

2 防災訓練開催日時

平成 30 年 11 月 18 日（日）開催

午前 9 時開始

3 訓練会場

市内 6 小学校（長小、西小、東小、北小、南小、市が洞小）

4 訓練内容

- (1) 避難訓練・避難誘導訓練
- (2) 避難所運営訓練（避難者名簿作成・被害情報の収集・避難所資機材設営・取扱いなど）
避難者については、自治会に加入されていない方についても必ず受付し、名簿作成する。
- (3) 要配慮者対応訓練（避難行動要支援者の安否確認、外国人への対応等）
- (4) 実際に発災したことを想定した訓練
（例：シェイクアウト訓練、初期消火訓練、救命救助訓練、家具の転倒防止、高層マンションが停電したことを想定した訓練等）

市内一斉に訓練を開始し、訓練時間としては概ね 90 分程度の予定です。

（訓練時間を延長することも可能ですので、その際は安心安全課と協議してください。）

5 訓練スケジュール（昨年度は、9時00分から10時30分まで）

○時○分に巨大地震が発生した想定で一斉に訓練スタート

市職員：各避難所（小学校）の鍵を開け点検等を行い、避難所を開設する。



市 民：自宅から徒歩で、最寄りの一時避難場所（公園）までの避難訓練・避難誘導訓練を実施する



市 民：一時避難場所（公園）から徒歩で、避難所である各小学校までの避難訓練・避難誘導訓練、要配慮者対応訓練等を実施する



市 民：各小学校において避難所運営訓練（避難者名簿の作成、被害情報の収集）や資機材設営・取扱訓練などを実施する
また、各校区においてそれぞれ考えた訓練を実施する。

防災関係機関・防災ボランティア等：無線機を用いて災害対策本部との通信訓練を実施する

市職員：各避難所において、市民が行う避難所運営訓練等を補助する。
無線機を用いて災害対策本部との通信訓練等を実施する。